



八地申第5号 吉祥寺駅の駅業務委託及び旅行業移管に関する説明申し入れ

“その駅のフロ”を創り出そう!

吉祥寺駅の駅業務委託及び旅行業移管に関する説明申し入れ

八王子支社より5月23日に「平成30年度営業関係施策（その2）について」の提案を受けました。吉祥寺駅の駅業務委託及び旅行業移管を12月1日に実施することが示されましたが、八王子支社内での大規模駅な駅業務委託及び旅行業移管は初めての実施であり、職場で働く組合員は多くの不安を抱えています。吉祥寺駅の一日の乗車人員は八王子支社で2番目に多い14万3千人であり、京王井の頭線との乗換駅など中央線の輸送の要の駅でもあります。これまで「NF2008における今後の駅のあり方」「駅業務のさらなる推進」施策を労使で認識を一致させ、実施してきました。施策実施後の検証を行いJR東日本の顔である駅を安全でお客様サービスを低下させることなく、より良い職場環境を目指さなくてはなりません。

これまで委託された駅では、労働環境や要員、教育、訓練について多くの課題が職場の声としてあがっています。安全第一の駅を目指すために、技術継承・技能伝承ができる駅業務・旅行業を担う人材の確保を行い、その駅のプロを育成していくことが快適な輸送サービスの提供につながります。

安全・健康・ゆとり・働きがいの持てる職場を構築していくために、下記の通り申し入れますので、会社の真摯な回答を要請します。

記

1. 駅業務委託、旅行業移管を行う目的と根拠を明らかにすること。
2. 吉祥寺駅の現在と施策実施後の体制を明らかにすること。
3. 「NF2008における今後の駅のあり方」にて新販売拠点としてきた成果と課題を明らかにすること。
4. レイアウト変更や現金取扱機器、バックヤード整備について明らかにすること。
5. 施策実施に伴う出向や異動の考え方について明らかにすること。
6. JR本体との指揮命令系統を明らかにすること。
7. 駅業務委託にあたり、管理駅及び非管理駅との連携について明らかにすること。
8. 施策実施後の分任業務の考え方について明らかにすること。
9. 旅行業を株式会社トラベルサービスへ移管するにあたっての、変更点を明らかにすること。

以上

サービスレベルを低下させず
技術継承・技能伝承が出来る職場を守り抜くぞ!